学校番号	３１８

令和８年度　音楽科

教科	芸術	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	Music Note　基礎から学ぶ高校音楽　（啓隆社） 子どものための音楽導入テキスト うたうソルフェージュ①						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽を構成する諸要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎能力を養うことを目指します。楽譜を読む力や音感、リズム感を養い様々な音楽表現に生かすことを目指します。また声楽、ピアノの基礎を学び、演奏する力を養うことを目標とします。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テスト、筆記テストで評価します。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽を構成する諸要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎能力を養う。
読譜力、リズム感を養い表現活動に生かす。声楽、鍵盤楽器の基礎を学び、演奏する能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、音楽理論の学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	発声の基礎	発声 コンコーネ 50 番 うたいましょう (うたうソルフェージュ)	a:　歌唱表現の特徴について理解している。表現したいことを伝えるための呼吸や姿勢など歌唱の技能を身につけている。 b:　音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:　歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・記録表	・観察 ・記録表	・観察 ・記録表
	鍵盤楽器の基礎を学ぶ	ピアノ演奏の技術 バイエル	a:　鍵盤楽器の基礎技術を習得し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b:　音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、美しさを創造的に味わっている。 c:　鍵盤楽器に関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。	・練習の観察 ・小テスト ・発表会 ・記録表	・練習の観察 ・記録表 ・発表会	・練習の観察 ・記録表 ・発表会 ・相互評価シート
	楽典、読譜力、聴音実技	楽典 聴音 譜読みの訓練	a:　音楽を形づくっている要素を知覚し、読譜のための知識や音楽を聴きとって楽譜に書く力、音楽理論の基礎知識を習得している。 c:　音楽や音楽文化に関心を持ち、楽典や聴音の学習に主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・筆記テスト ・音符カード		・観察
2学期	アンサンブルに挑戦しよう	ハンドベル 「となりのトトロ」	a:　ハンドベルの基礎技術を習得し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b:　音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:　アンサンブルの喜びを味わい、イメージを持って演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	・演奏観察 ・記録表	・演奏観察 ・録音をきいてのワークシート	・演奏観察 ・記録表 ・録音をきいての意見交流

	鍵盤楽器の基礎を学び、簡単な楽曲に挑戦しよう	ピアノ演奏・連弾 バイエル 子どものうた	a:　鍵盤楽器の基礎技術を習得し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b:　音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、美しさを創造的に味わっている。 c:　鍵盤楽器に関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。	演奏 ・発表会	演奏 観察	演奏 観察 ワーク シート
	音楽理論の基礎	楽典 聴音 リズムソルフェージュ	a:　音楽を形づくっている要素を知覚し、読譜のための知識や音楽を聴きとって楽譜に書く力、音楽理論の基礎知識を習得している。 c:　音楽や音楽文化に関心を持ち、楽典や聴音の学習に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・筆記テスト ・音符カード	・リズムうちの指導の様子の観察	・観察 ・ワークシート ・リズムうちの指導の様子の観察
3学期	ピアノの弾き歌いに挑戦しよう	各自で選曲した弾き歌いの曲	a:　歌唱表現やピアノ表現の特徴について理解している。表現したいことを伝えるための呼吸や姿勢など歌唱の技能を身につけている。 b:　音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:　弾き歌いの喜びを味わい、イメージを持って演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	・演奏 ・記録表 ・発表会	・演奏 ・発表会 ・記録表	・演奏 ・観察 ・記録表 ・発表会での視点

	基礎を生かし、いろいろな楽曲に挑戦しよう	ピアノ演奏 バイエル 自由曲	a:　鍵盤楽器の基礎技術を習得し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b:　音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、美しさを創造的に味わっている。 c:　鍵盤楽器に関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。	・演奏 ・発表	・演奏 ・観察	・演奏 ・観察 ・記録表
	音楽理論と読譜力、聴く力を養う	楽典 聴音 リズムソルフェージュ	a:　音楽を形づくっている要素を知覚し、読譜のための知識や音楽を聴きとって楽譜に書く力、音楽理論の基礎知識を習得している。 c:　音楽や音楽文化に関心を持ち、楽典や聴音の学習に主体的に取り組もうとしている。	・プリント ・筆記テスト		・観察 ・プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度